

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,044	△0.2	237	△1.3	237	3.4	126	2.5
24年3月期第2四半期	9,066	10.0	240	△27.6	229	△29.0	123	△18.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 70百万円(△40.3%) 24年3月期第2四半期 118百万円(△9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.46	—
24年3月期第2四半期	13.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,221	3,368	36.5
24年3月期	8,967	3,363	37.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,368百万円 24年3月期 3,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	△1.7	430	△17.6	420	△17.9	230	△8.3	24.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	9,389,000株	24年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	3,202株	24年3月期	3,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	9,385,798株	24年3月期2Q	9,386,507株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年11月9日に、四半期決算説明資料「第64期（平成25年3月期）第2四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、円高水準・デフレ経済が継続する中、個人消費・雇用市場の持ち直し、震災復興需要等により緩やかな成長が続きました。

一方海外においては、欧州の財政赤字問題・信用不安が世界経済に引き続き影響を与える中、中国・アジアでも景気減速感が強まっており、わが国経済においても足元では輸出・生産の足踏みとなって景気の先行き不透明感が益々強まっております。

かかる環境下、当第2四半期連結累計期間における物流業界におきましては、米国からの輸入は緩やかに増加しているものの、欧州やアジアからの輸入はほぼ横ばいとなりました。輸出に関しても世界景気の減速等の影響から弱含みの状態となりました。

その中で当社が主力とする食品の輸入取扱いにおきましては、畜産物は微増ながらも水産物については、さけ・さばが増加、果実・野菜等についてもポテトなどを中心に増加致しました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいては概ね堅調に推移致しました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう。」のコーポレートフィロソフィの下で、第4次中期経営計画「お客さま信頼度ナンバーワンを目指して」の各施策を一つひとつ取り組むとともに積極的な受注活動を展開しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期間比0.2%減の90億44百万円となりました。また、人件費の増加、本社移転に伴う一時費用、減価償却費の増加等があったものの連結経常利益は前年同期間比3.4%増の2億37百万円、連結四半期純利益は前年同期間比2.5%増の1億26百万円となりました。

なお本社移転に関する支出は総額1億19百万円、内訳として一時費用が37百万円、固定資産の取得額が82百万円でありました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

## [港湾運送事業および港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入が減少したため、売上高は前年同期間比1.4%減の44億86百万円となりました。

陸上運送事業は、トラック運送料収入が減少したため、売上高は前年同期間比2.8%減の15億19百万円となりました。

倉庫業は、入出庫作業料収入および保管料収入が増加したため、売上高は前年同期間比4.7%増の16億41百万円となりました。

通関業は、輸入食品衛生検査料収入が減少した一方、輸入申告料収入が増加したため、売上高は前年同期間比0.5%増の12億17百万円となりました。

この結果、港湾運送事業および港湾付帯事業の売上高は前年同期間比0.3%減の88億63百万円となりましたが、外注費率の低い通関収入が増加したことによりセグメント利益は前年同期間比5.2%増の6億46百万円となりました。

## [その他事業]

その他事業は、不動産付帯収入が増加したため、売上高は前年同期間比3.6%増の1億81百万円となりました。またセグメント利益は前年同期間比6.6%増の21百万円となりました。

## セグメント別売上高

区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	8,891,464	98.1	8,863,875	98.0	△27,588	△0.3
港湾運送事業	4,550,231	50.2	4,486,192	49.6	△64,039	△1.4
陸上運送事業	1,562,404	17.2	1,519,128	16.8	△43,275	△2.8
倉庫業	1,567,557	17.3	1,641,348	18.1	73,790	4.7
通関業	1,211,270	13.4	1,217,206	13.5	5,936	0.5
その他事業						
その他事業	174,878	1.9	181,120	2.0	6,242	3.6
合計	9,066,342	100.0	9,044,996	100.0	△21,345	△0.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (総 資 産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9億2千1百万円となり、前連結会計年度に比べ2億5千3百万円増加いたしました。主な要因は受取手形及び営業未収入金が2億8千1百万円、関税等立替金他(流動資産・その他)が8千6百万円、建物及び構築物が2千2百万円、工具、器具及び備品(有形固定資産・その他)が3千1百万円、保険積立金他(投資その他の資産・その他)が5千9百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が8千3百万円、たな卸資産が3千5百万円、前払費用が7百万円、投資有価証券が7千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (負 債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は5億8千5百万円となり、前連結会計年度に比べ2億4千8百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が1億2千2百万円、短期および長期借入金2億円、退職給付引当金が2千4百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が2千6百万円、未払消費税等他(流動負債・その他)が5千8百万円、長期未払金が1千5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3億3千6百万円となり、前連結会計年度に比べ5百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が6千0百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が5千6百万円減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比較し2億46百万円増加し、当第2四半期末には14億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は49百万円となりました。(前年同四半期は84百万円の減少)これは税金等調整前四半期純利益が2億27百万円となり、減価償却費1億17百万円、仕入債務の増加額1億22百万円があったものの、売上債権の増加額2億80百万円、その他1億23百万円(うち、関税等立替金の増加額88百万円)、法人税等の支払額1億37百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は1億75百万円となりました。(前年同四半期は7億10百万円の増加)これは有形固定資産の取得による支出92百万円があったものの、定期預金の払戻による収入3億30百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は1億19百万円となりました。(前年同四半期は3億67百万円の減少)これは長期借入金の返済による支出3億59百万円、配当金の支払額65百万円があったものの、長期借入れによる収入5億60百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月2日開示「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,258千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,490,221	1,406,299
受取手形及び営業未収入金	2,782,406	3,064,401
たな卸資産	236,154	200,596
前払費用	71,277	64,018
繰延税金資産	111,353	119,260
その他	266,412	352,930
貸倒引当金	△18,697	△20,541
流動資産合計	4,939,128	5,186,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	405,833	428,212
機械装置及び運搬具(純額)	6,473	5,326
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産(純額)	58,894	65,983
その他(純額)	35,349	66,961
有形固定資産合計	1,919,189	1,979,121
無形固定資産	552,856	507,402
投資その他の資産		
投資有価証券	532,238	456,080
破産更生債権等	169,296	167,962
繰延税金資産	354,172	362,276
その他	668,151	727,298
貸倒引当金	△167,374	△166,044
投資その他の資産合計	1,556,484	1,547,573
固定資産合計	4,028,530	4,034,098
資産合計	8,967,659	9,221,061



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,594,867	1,716,890
短期借入金	913,014	941,992
未払法人税等	136,878	110,258
賞与引当金	227,711	232,796
その他	412,136	353,963
流動負債合計	3,284,608	3,355,900
固定負債		
長期借入金	969,339	1,140,679
再評価に係る繰延税金負債	187,701	187,701
退職給付引当金	992,454	1,017,186
役員退職慰労引当金	1,879	2,037
長期末払金	92,990	77,240
その他	74,855	71,323
固定負債合計	2,319,220	2,496,167
負債合計	5,603,828	5,852,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	1,841,583	1,902,232
自己株式	△1,062	△1,062
株主資本合計	3,321,866	3,382,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,505	△45,556
土地再評価差額金	29,849	29,849
為替換算調整勘定	1,608	2,184
その他の包括利益累計額合計	41,963	△13,522
純資産合計	3,363,830	3,368,993
負債純資産合計	8,967,659	9,221,061

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	9,066,342	9,044,996
営業原価	7,177,176	7,080,826
営業総利益	1,889,165	1,964,169
販売費及び一般管理費	1,648,497	1,726,663
営業利益	240,668	237,506
営業外収益		
受取利息	2,746	1,662
受取配当金	3,719	4,935
受取保険金	537	41
受取地代家賃	2,207	2,294
その他	6,490	8,359
営業外収益合計	15,702	17,294
営業外費用		
支払利息	20,898	16,678
複合金融商品評価損	4,589	442
その他	1,479	518
営業外費用合計	26,966	17,639
経常利益	229,403	237,160
特別利益		
固定資産売却益	349	1,799
特別利益合計	349	1,799
特別損失		
固定資産除却損	114	703
投資有価証券評価損	7,919	10,796
災害による損失	1,325	—
ゴルフ会員権評価損	1,500	—
特別損失合計	10,859	11,499
税金等調整前四半期純利益	218,893	227,460
法人税、住民税及び事業税	103,292	104,663
法人税等調整額	△7,707	△3,551
法人税等合計	95,584	101,111
少数株主損益調整前四半期純利益	123,308	126,349
四半期純利益	123,308	126,349

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	123,308	126,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,136	△56,061
為替換算調整勘定	531	575
その他の包括利益合計	△4,604	△55,485
四半期包括利益	118,704	70,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,704	70,863
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	218,893	227,460
減価償却費	102,976	117,018
災害損失	1,325	—
ゴルフ会員権評価損	1,500	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,597	514
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,629	24,671
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	141	157
受取利息及び受取配当金	△6,466	△6,598
支払利息	20,898	16,678
為替差損益(△は益)	△410	△218
投資有価証券評価損益(△は益)	7,919	10,796
複合金融商品評価損益(△は益)	4,589	442
有形固定資産売却損益(△は益)	△349	△1,799
有形固定資産除却損	114	703
売上債権の増減額(△は増加)	△358,247	△280,641
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,133	35,558
仕入債務の増減額(△は減少)	189,462	122,023
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,243	△30,520
未収消費税等の増減額(△は増加)	3,070	—
その他	△84,885	△123,069
小計	93,868	113,177
利息及び配当金の受取額	7,208	7,192
利息の支払額	△20,756	△17,165
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△164,899	△137,398
役員退職慰労金の支払額	—	△15,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,579	△49,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△230,000	—
定期預金の払戻による収入	1,110,000	330,000
保険積立金の積立による支出	△11,911	△41,197
有形固定資産の取得による支出	△6,767	△92,192
有形固定資産の売却による収入	535	2,000
無形固定資産の取得による支出	△27,710	△11,860
投資有価証券の取得による支出	△126,704	△3,670
貸付けによる支出	△5,500	△9,600
貸付金の回収による収入	8,721	9,026
その他	—	△6,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	710,663	175,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	250,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△250,000
長期借入れによる収入	180,000	560,000
長期借入金の返済による支出	△316,498	△359,682
リース債務の返済による支出	△15,164	△14,951
配当金の支払額	△65,535	△65,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,197	119,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	180
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	258,994	246,078
現金及び現金同等物の期首残高	891,527	1,160,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,150,522	1,406,299

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,891,464	174,878	9,066,342	—	9,066,342
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	34,866	34,866	△34,866	—
計	8,891,464	209,744	9,101,208	△34,866	9,066,342
セグメント利益	614,830	19,713	634,543	△393,875	240,668

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用393,875千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,863,875	181,120	9,044,996	—	9,044,996
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	57,558	57,558	△57,558	—
計	8,863,875	238,678	9,102,554	△57,558	9,044,996
セグメント利益	646,591	21,007	667,598	△430,092	237,506

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用430,092千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。